

事務事業名	楡形図書館運営事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12442				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	市立図書館	課長名	滝沢 美保				
			所属担当	楡形図書館	担当者名	清水寿美				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 04	目 04	細目 050	細々目 05
政策	22	生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	35	生涯学習システムの推進								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	図書館法 南アルプス市立図書館条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市内図書館の中央館的機能を持つ図書館として円滑な運営に努め、市民の読書活動や学習活動を高める。 ・資料の貸出・返却・予約・リクエスト・相互貸借 ・レファレンスサービス(調査相談) ・AVブース利用、PC利用、学習室利用 ・館内の掲示、案内、壁面飾り			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 臨時職員賃金 35,006 手数料 1,210 消耗品費 689 使用料 29 燃料費 89 リース料 314 印刷製本費 72 通信運搬費 228 計 37,637						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績 開館日数 285日 貸出資料数 209,803冊 26年度活動予定 開館日数 285日 貸出資料数 216,097冊	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 開館日数 日数 イ 貸出資料数 点数 ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 図書館利用登録者数 人数 イ ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	図書館が暮らしに役立つことを理解し、館内インターネット利用件数、レファレンス件数、資料予約数が増える	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 館内インターネット利用件数 件数 イ レファレンス(調査相談)件数 件数 ウ 資料予約件数 件数
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	図書館利用者の拡大	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 新規図書館利用登録者数 人数 イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
			国庫支出金	千円						
県支出金	千円									
地方債	千円									
その他	千円		9,007	8,927	7,000					
一般財源	千円		3,198	27,853	30,637	37,696	37,637	37,637		
事業費計(A)	千円		12,205	36,780	37,637	37,696	37,637	37,637	0	
正規職員従事人数	人		5	5	5	5	5	5		
延べ業務時間	時間		7,678	7,648	7,232	7,232	7,232	7,232		
人件費計(B)	千円		34,943	34,806	32,913	32,913	32,913	32,913	0	
(A)+(B)	千円		47,148	71,586	70,550	70,609	70,550	70,550	0	
活動指標	ア	日数	285.0	286.0	285.0	285.0	285.0	285.0	285.0	
	イ	点数	209,552.0	203,693.0	209,803.0	216,097.0	222,580.0	229,258.0		
対象指標	ア	人数	19,193.0	20,043.0	20,893.0	21,743.0	22,593.0	23,443.0		
	イ									
成果指標	ア	件数	1,938.0	1,894.0	1,950.0	2,009.0	2,069.0	2,131.0		
	イ	件数	640.0	710.0	731.0	753.0	775.0	799.0		
	ウ	件数	5,013.0	5,453.0	5,616.0	5,785.0	5,958.0	6,137.0		
上位成果指標	ア	人数	782.0	850.0	875.0	901.0	928.0	956.0		

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和59年6月に楡形図書館が誕生。町民の要望により平成11年10月に現在の地に新図書館オープンする。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	図書館ホームページを開設し図書館サービスをインターネット上で行うようになった。今後は、電子書籍の出版状況を把握し、市民にどのように提供していくか検討を行っていく必要がある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	1枚の利用カードで市内の図書館が利用でき、他の図書館資料も地域の図書館で借りることができる。また、図書館ホームページから資料の予約ができて便利だといわれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	図書館にない資料は、市内県内から取り寄せることができることや、調べたいことに図書館職員がいつでも応じることをアピールしている。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	市制10周年の企画展を開催した。南アルプス市と図書館の10年のあゆみを掲示し、多くの市民を集客した。

事務事業名	楡形図書館運営事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民の読書活動や学習活動を支える生涯学習施設として施策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 図書館は営利を目的にした施設ではない。市民が必要とする資料や情報を提供し、市民の生活を豊かにすることを目的にしているため市の運営が妥当だと考える。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 図書館は暮らしに役立ち、市民の中には図書館が生活の一部になっている方もいるので、維持・管理を継続していく必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 図書館サービスが全市民に浸透しているとはいえないので、今まで以上のPRが必要である。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 市民が暮らしに必要な情報を得たり、課題解決のための調べる場所を失う。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 多くの利用者が読書活動や学習活動ができなくなり休止はできない
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 利用者に満足してもらえる図書館サービスを提供するには、削減の余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 窓口業務以外に、資料提供までの業務を事務室内で行っているため削減することが出来ない。図書館サービスの低下につながる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 図書館は、だれでもが利用できる施設であることを市民に知らせ、多くの市民が利用できるように充実させていく。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	市制10周年の企画展(市内図書館の10年のあゆみ・6地区の特色・市制10周年の出来事など)を開催し、多くの市民を集客した。 多くの市民が利用したくなる魅力的な図書館を目指しつつ、 26年度は、時間延長の試行を行い時間帯ごとの利用者数を確認し、今後の検討材料とする。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
① 多くの市民が図書館を利用するようPRを積極的に行う。 ② 資料の展示や掲示を魅力的なものにする。 ③ 図書館に来館できない人にも等しくサービスが受けられるようにする。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>①</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	①																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	①																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① 広報、メールマガジン、図書館通信、ホームページ等を通して、情報・サービスの発信を行う。 ② 利用者が資料を手に取りやすいように、展示や掲示を工夫する。 ③ ボランティアに協力してもらい、来館できない人に宅配サービスを推進していく。																						